記入例

健康保険 被扶養者（異動）届

常務理事	事務長	係

受付印

令和 6 年 12 月 2 日提出

事業主欄

下記のとおり、被保険者から被扶養者の届出がありましたので届出します。
また、下記のとおり相違ないことを証明します。

事業所所在地	〒 101 — 0001 東京都〇〇〇〇
事業所名称	××××株式会社
事業主氏名	代表取締役 住友次郎
電話番号	03 （ ×××× ） 〇〇〇〇

社会保険労務士記載欄

氏名等

〇〇〇社労士事務所

A. 被保険者欄

① 健康保険被保険者等記号	10	② 健康保険被保険者等番号	200	③ 異動の別	1.扶養 追加

④ 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ケンポ タロウ (氏) 健保 (名) 太郎	⑤(和暦) 生年月日	昭和49年1月1日	⑥ 性別	1.男
		⑦ 住所	〒 559 — 0000 大阪府・・・・・		

⑧ 資格取得年月日	9.令和 0 5 年 0 4 月 0 1 日	⑨ 被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。 被保険者の年間収入 円	配偶者の年間収入 円	⑩ 標準報酬月額 千円	⑪ 備考

B. 被扶養者欄1

① 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ケンポ ハナコ (氏) 健保 (名) 花子	②(和暦) 生年月日	昭和52年8月5日	③ 性別	2.女	④ 続柄	妻
		⑤ 個人番号	1 2 3 4 5 × × × × × × × ×				

⑥ 住所	1.同居 〒 —	⑦ 資格確認書発行要否	☐ 発行が必要

⑧ 被扶養者になった日	9.令和 0 5 年 0 4 月 0 1 日	⑨ 理由	1.被保険者が就職	⑩ 職業	2.パート	⑪ 収入(年収)	100万 円
⑫ 被扶養者でなくなった日	9.令和 年 月 日	⑬ 理由	1.死亡 4.75歳到達 2.就職 5.失業給付受給開始 3.収入増加 6.その他（ ）	⑭ 備考		⑮ 認定欄	

個人番号は必ずご記入ください。

B. 被扶養者欄2

① 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ケンポ ジロウ (氏) 健保 (名) 次郎	②(和暦) 生年月日	平成16年6月15日	③ 性別	1.男	④ 続柄	長男
		⑤ 個人番号	9 8 7 6 5 × × × × × × × ×				

⑥ 住所	3.別途(その他) 〒 116 — 0000 東京都・・・・・・	⑦ 資格確認書発行要否	☑ 発行が必要

⑧ 被扶養者になった日	9.令和 0 5 年 0 4 月 0 1 日	⑨ 理由	1.被保険者が就職	⑩ 職業	5.高・大学生	⑪ 収入(年収)	50万 円
⑫ 被扶養者でなくなった日	9.令和 年 月 日	⑬ 理由	1.死亡 4.75歳到達 2.就職 5.失業給付受給開始 3.収入増加 6.その他（ ）	⑭ 備考		⑮	

マイナ保険証を取得していない方は、保険証の代わりに「資格確認書」を発行しますので☐に✓を付してください。

B. 被扶養者欄3

① 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏) (名)	②(和暦) 生年月日	昭和・平成・令和	③ 性別		④ 続柄	
		⑤ 個人番号					

⑥ 住所	1.同居 2.別居(単身赴任) 3.別居(その他) 〒 —	⑦ 資格確認書発行要否	☐ 発行が必要

⑧ 被扶養者になった日	9.令和 年 月 日	⑨ 理由	1. 被保険者が就職 4.収入減 2. 出生 5.失業給付受給終了 3. 離職 6.その他（ ）	⑩ 職業	1.無職 4.小・中学生以下 2.パート 5.高・大学生 3.年金受給者 6.その他（ ）	⑪ 収入(年収)	円
⑫ 被扶養者でなくなった日	9.令和 年 月 日	⑬ 理由	1.死亡 4.75歳到達 2.就職 5.失業給付受給開始 3.収入増加 6.その他（ ）	⑭ 備考		⑮ 認定欄	

B. 被扶養者欄4

① 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏) (名)	②(和暦) 生年月日	昭和・平成・令和 年 月 日	③ 性別	1.男 2. 女	④ 続柄	
		⑤ 個人番号					

⑥ 住所	1.同居 2.別居(単身赴任) 3.別居(その他) 〒 —	⑦ 資格確認書発行要否	☐ 発行が必要

⑧ 被扶養者になった日	9.令和 年 月 日	⑨ 理由	1. 被保険者が就職 4.収入減 2. 出生 5.失業給付受給終了 3. 離職 6.その他（ ）	⑩ 職業	1.無職 4.小・中学生以下 2.パート 5.高・大学生 3.年金受給者 6.その他（ ）	⑪ 収入(年収)	円
⑫ 被扶養者でなくなった日	9.令和 年 月 日	⑬ 理由	1.死亡 4.75歳到達 2.就職 5.失業給付受給開始 3.収入増加 6.その他（ ）	⑭ 備考		⑮ 認定欄	

記入方法

＜A．被保険者欄＞

①②被保険者等記号・番号 ：資格取得時に払い出しされた被保険者等記号・番号を記入してください。。
③異動の種別 ：該当するものを選択してください。
④氏名 ：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
⑤生年月日 ：和暦で記入してください。（西暦で入力できます）
⑥性別 ：該当するものを選択してください。
⑦住所 ：住民票の住所を記入してください。
⑧資格取得年月日 ：被保険者の資格取得日を記入してください。
⑨年収 ：被扶養者でない配偶者（例：夫婦共働き等）を有するときに、各々の今後１年間の年間収入見込額を記入してください。
⑩標準報酬月額 ：被保険者の申請時の標準報酬月額を記入してください。わからない場合は何も記入しないでください。
⑪備考

＜B．被扶養者欄１～４＞

①氏名 ：氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
②生年月日 ：和暦で記入してください。（西暦で入力できます）
③性別 ：該当するものを選択してください。
④続柄 ：被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「父」、「母」等と記入してください。
⑤個人番号 ：本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。
⑥住所 ：被保険者と同居または別居のいずれかを選択し、同居の場合は住所記入は不要です。
別居の場合は、住民票の住所を記入してください。
⑦資格確認書の発行要否 ：資格確認書の発行が必要な場合（※）は、「発行が必要」の□に✔を付してください。
※以下に該当する場合に限ります。
・マイナンバーカードを取得していない者、マイナンバーカードの返納者
・マイナンバーカードを保有しているが健康保険証利用登録を行っていない者、利用登録解除を申請した者、利用登録解除者
・マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの者

◆A.被保険者欄の③で、「1.扶養追加」を選択した場合は⑧～⑪を、「2.扶養削除」を選択した場合は⑫～⑬を記入してください。

⑧被扶養者になった日 ：被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、
それ以外の場合は被扶養者になった日（希望日）を記入してください。
【注意】扶養追加希望日より1ヶ月以上過ぎてご申請頂いた場合、希望日まで遡って認定できない可能性があります。
⑨理由 ：被扶養者となった理由を選択してください。
⑩職業 ：該当するものを選択してください。
⑪年収 ：今後１年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含みます。

⑫被扶養者でなくなった日 ：死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は被扶養者でなくなった当日の日付を記入してください。
⑬理由 ：被扶養者でなくなった理由を選択してください。

⑭備考
⑮認定欄 ：組合使用欄のため記入しないでください。

添付書類

＜扶養追加時の提出書類＞
■健康保険　被扶養者（異動）届
■被扶養者現況書
■住民票（写し可）
■下表の該当するものすべて

	提出書類
学生	在学証明書　又は　学生証　の写し（義務教育の学生は不要）
収入の無い方	非課税証明書
収入のある方	給与明細　直近3か月分の写し（前年度から同じ職場の方は源泉徴収でも可）
確定申告をしている方	確定申告(税務署受付印のあるもの)の写し一式※e-tax電子申請された場合は確定申告の写し一式と課税または非課税等の所得証明書
退職された方	雇用保険関係の書類（※下記参照）、雇用保険関係の書類準備にお時間を要する場合、退職日のわかる書類を先にご提出ください。
年金受給している方	年金受給の明細（年金通知書）の写し（老齢、遺族、障害　年金等すべて）
苗字が異なる方	続柄を確認できる書類（住民票・戸籍等）
別居の方	送金を確認できるもの（銀行振込明細等）の写し（原則手渡し不可）※単身赴任により別居されている方は不要

上記以外にも状況に応じて書類を依頼することがあります。

※雇用保険関係の書類

失業給付を受給する場合	受給資格者証の写し
失業給付を受給しない場合	雇用保険失業給付に係る誓約書 と 離職票①、②の写し
失業給付を延長する場合	雇用保険失業給付に係る誓約書 と 受給延長通知書の写し
失業給付の受給が終了している場合	受給資格者証の写し（支給終了の印字があるもの）

日額3,611円以上（60歳未満）／日額4,999円以上（60歳以上）の失業給付受給中は扶養者として認定できません。

＜扶養削除時の提出書類＞
■健康保険　被扶養者（異動）届
■雇用保険受給開始により扶養削除される場合は、受給資格者証の写し（受給開始日の印字があるもの）を添付してください。